

第38回全京都障害者総合スポーツ大会開催要綱

1 目的

本大会は、昭和56年「国際障害者年」を記念して、第1回大会を開催して以来、障害のある人々のための総合的なスポーツ大会として、毎年継続して実施するものである。

特に、昭和63年10月に行われた第24回全国身体障害者スポーツ大会（愛とふれあいの京都大会）の成功を基礎に、障害のある人々が、スポーツを通じて健康及び体力の保持増進を図り、明朗で積極的な性格を養うとともに自立と社会参加を目指し、障害のある人々相互に、また障害のない人々との連帯を深めることを目的に開催する。

あわせて、この大会を通じて地域における障害者スポーツのリーダーの養成を図り、スポーツの日常化とスポーツ活動に参加する層の拡大を図り、「国際障害者年10年」の歩みで培った「完全参加と平等」の理念の実現に寄与しようとするものである。

なお、卓球、水泳、陸上競技、アーチェリー、フライングディスクの各大会においては、次年度の全国障害者スポーツ大会、また、陸上競技大会（3,000m競走車いす使用者）においては、全国車いす駅伝競走大会の京都府、市、選手の選考会を兼ねて行う。

2 主催

（一社）京都障害者スポーツ振興会、
京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、
（一社）京都府身体障害者団体連合会、（公社）京都市身体障害者団体連合会、
（一社）京都手をつなぐ育成会、（公財）京都新聞社会福祉事業団

3 後援

（福）京都府社会福祉協議会、（福）京都市社会福祉協議会、
（公財）京都府体育協会、（公財）京都市体育協会、
（公財）京都市障害者スポーツ協会、国際ソロプチミスト京都一東山、
日本赤十字社京都府支部、京都新聞、KBS京都、（一社）京都ボランティア協会

4 主管・運営協力

京都卓球バレー協会
京都卓球協会
京都水泳協会
京都陸上競技協会
京都府アーチェリー連盟
京都障害者フライングディスク協会

- 5 大会役員
- 名誉会長 京都府知事
 - 名誉副会長 京都市長
京都府身体障害者団体連合会会長
京都市身体障害者団体連合会会長
京都手をつなぐ育成会会長
京都新聞社会福祉事業団理事長
 - 会長 京都障害者スポーツ振興会会長
 - 副会長 京都府教育委員会委員長
京都市教育長
 - その他 顧問、参与、委員を置く。

- 6 競技種目 卓球バレー、卓球、水泳、陸上競技、アーチェリー、フライングディスク

7 日程

- 卓球バレー大会 平成30年6月17日(日) 島津アリーナ京都(京都府立体育館)
- 卓球大会 平成30年7月15日(日) 京都市障害者スポーツセンター
- 水泳大会 平成30年8月19日(日) 京都市障害者スポーツセンター
- 陸上競技大会 平成30年9月9日(日) 京都市西京極総合運動公園
陸上競技場
- アーチェリー大会 平成30年9月22日(土) 南丹市 日吉総合運動広場
- フライングディスク大会 平成30年10月7日(日) 京都府立丹波自然運動公園

8 その他

- ①参加資格、競技運営その他詳細については、別に実施要項でこれを定める。
- ②全国障害者スポーツ大会の選手選考にあたっては、開催基準要綱が改正され、出場回数の制限はなくなりましたが、より多くの人に出場の機会がもてるよう従来どおり、過去に出場経験のない人を優先する。